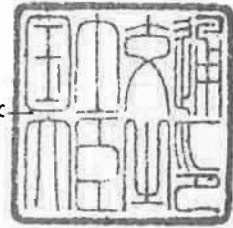


認 定 書

国住指第 4744 号
平成 30 年 4 月 26 日

ケイミュー株式会社
代表取締役 社長 木村 均 様
吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-3633-1
2. 認定をした構造方法等の名称
人造鉱物繊維断熱材充てん／イソシアヌレートフォーム裏張めっき鋼板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別 添)

1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん/イソシアヌレートフォーム裏張めっき鋼板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁

2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
壁 高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁 厚	147.8以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
① 荷重支持部材	柱 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS (2) 平成13年建設省告示第1024号に規定する構造用集成材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS (3) 平成13年建設省告示第1024号に規定する単板積層材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS (4) 平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材 ・断面寸法 105×105の断面寸法以上 ・密度 $0.38_{+0.08}$g/cm³以上
② 間柱	木 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) 製材 (2) 集成材 (3) 単板積層材 ・断面寸法 27×105の断面寸法以上 ・間隔 500以下
③ 胴縁	木 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) 製材 (2) 集成材 (3) 単板積層材 ・断面寸法 一般部 15×40の断面寸法以上 目地部 15×40の断面寸法以上を2列または15×80の断面寸法以上 ・間隔 500以下
④ 受け材	(1)、(2)のうちいずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) なし (2) 木 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 1)～3)のうちいずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) 製材 2) 集成材 3) 単板積層材 ・断面寸法 25×25の断面寸法以上 ・取付位置 構造用面材または内装材横目地位置

(寸法単位：mm)

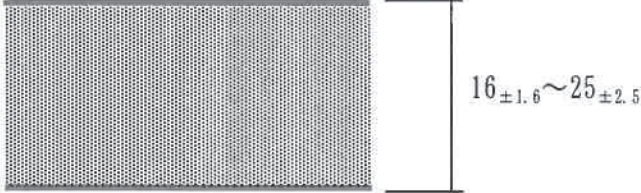
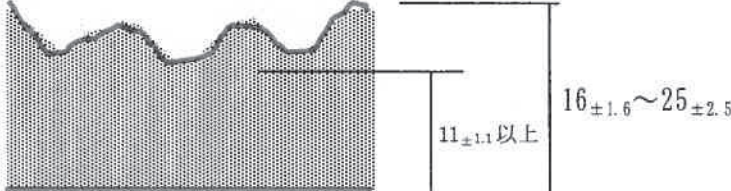
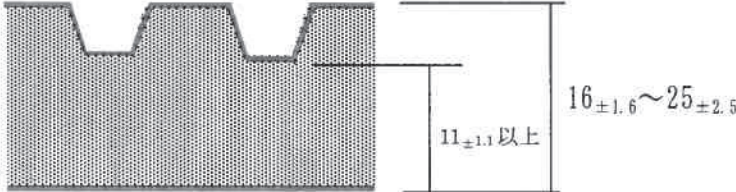
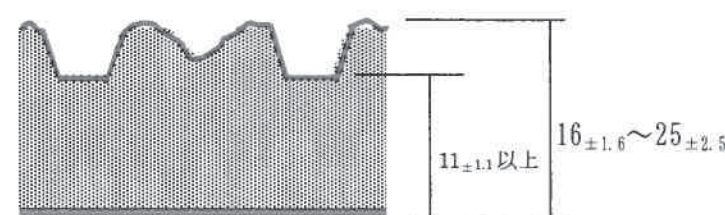
項 目	仕 様
[5]外装材	<p>イソシアヌレートフォーム裏張めっき鋼板</p> <p>[1] 構成</p> <p>[1]-1 表面材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 (1)～(18)のうち、いずれか一仕様とする (1) 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8697) (2) 溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302 (3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 (4) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3317 (5) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 (6) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321 (7) 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 (8) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板又は銅板は除く) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 (9) 一般構造用圧延鋼材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3101 (10) 冷間圧延鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3141 (11) 熱間圧延軟鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3131 (12) 電気亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3313 (13) 建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0965) (14) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3323

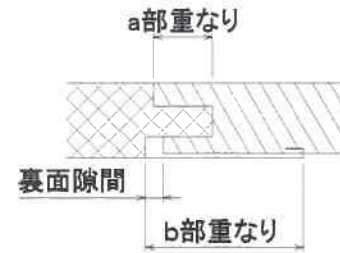
項目	仕様												
[5] 外装材 (つづき)	<p>(15) ポリエステル被膜溶融亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～11)のうち、いずれか一仕様とする 1) 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8697) 2) 溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302 3) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3317 4) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321 5) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板又は銅板は除く) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 6) 一般構造用圧延鋼材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3101 7) 冷間圧延鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3141 8) 熱間圧延軟鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3131 9) 電気亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3313 10) 建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0965) 11) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3323 <p>(16) 冷間圧延ステンレス鋼板の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 4305 <p>(17) 熱間圧延ステンレス鋼板の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 4304 <p>(18) 塗装ステンレス鋼板の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3320 <ul style="list-style-type: none"> ・(16)～(18)の鋼種：SUS430、SUS445J1、SUS445J2、SUS447J1 ・厚さ 0.27以上 <p>[1]-2芯材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 イソシアヌレートフォーム ・組成(質量%) <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">ポリイソシアネート</td> <td style="padding-left: 20px;">66_{±7}</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">ポリエステル系ポリオール</td> <td style="padding-left: 20px;">3_{±3}</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">ポリエステル系ポリオール</td> <td style="padding-left: 20px;">23_{±4}</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">難燃材(リン系)</td> <td style="padding-left: 20px;">5_{±2}</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">三量化触媒、整泡剤</td> <td style="padding-left: 20px;">3_{±3}</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">発泡剤(HFC系、HFO系)</td> <td style="padding-left: 20px;">5_{±3}～11_{±3}(外割)</td> </tr> </table> ・イソシアネート指数 279 ・密度 37.5_{±4}kg/m³ 	ポリイソシアネート	66 _{±7}	ポリエステル系ポリオール	3 _{±3}	ポリエステル系ポリオール	23 _{±4}	難燃材(リン系)	5 _{±2}	三量化触媒、整泡剤	3 _{±3}	発泡剤(HFC系、HFO系)	5 _{±3} ～11 _{±3} (外割)
ポリイソシアネート	66 _{±7}												
ポリエステル系ポリオール	3 _{±3}												
ポリエステル系ポリオール	23 _{±4}												
難燃材(リン系)	5 _{±2}												
三量化触媒、整泡剤	3 _{±3}												
発泡剤(HFC系、HFO系)	5 _{±3} ～11 _{±3} (外割)												

(寸法単位：mm)

項目	仕様
[5]外装材 (つづき)	<p>[1]-3裏面材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 (1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> (1) アルミニウム合金はく <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS H 4160 (2) はり合わせアルミニウムはく <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS Z 1520 (3) 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 (4) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321 (5) 塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 (6) 溶融亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302 (7) 塗装溶融-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3323 ・厚さ <ol style="list-style-type: none"> (1) $0.02_{\pm 0.002}$以上 (2) $0.2_{\pm 0.1}$ (3)～(7) 0.15以上 <p>[1]-4水密材A</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)、(2)のうちいずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> (1) なし (2) あり <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1) 合成ゴム系 2) 軟質塩化ビニル系 3) ポリウレタン系 4) アクリルウレタン系 5) ポリサルファイド系 6) 変成シリコーン系 7) ポリエチレン系 ・使用量 0.1～55g/m (有機質量) <p>[2]表裏面塗装</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)、(2)のうちいずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> (1) なし (2) あり <ul style="list-style-type: none"> ・種類 1)～9)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1) フッ素系樹脂 2) アクリル系樹脂 3) アクリルウレタン系樹脂 4) ウレタン系樹脂 5) アクリルシリコン系樹脂 6) 無機質系 7) エポキシ系樹脂 8) ポリエステル系樹脂 9) 上記1)～8)の組合せ <p>[3]表裏面合計有機質量 (芯材・水密材を除く部分) 60g/m²以下</p>

(寸法単位：mm)

項目	仕様
[5] 外装材 (つづき)	<p>[4] 形状</p> <p>[4]-1 断面形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ $16_{\pm 1.6} \sim 25_{\pm 2.5}$ (最低厚さ $11_{\pm 1.1}$ 以上) ・ 働き幅 $400_{\pm 40}$ ・ 長さ 10~10000 ・ 断面欠損率 $11.8_{\pm 1.18}\%$ 以下 ※ ※裏面から16以下の部分の溝深さによる欠損率とする ・ 裏面隙間 $4.6_{\pm 0.46}$ 以下 ・ a部重なり $10.4_{\pm 1.04}$ 以上 ・ b部重なり $29.5_{\pm 2.95}$ 以上 <p>[4]-2 表面材形状</p> <p>(1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 平滑 (2) エンボス (3) 溝付き (4) 上記(1)~(3)の組合せ</p> <p>(1) 平滑の形状例</p>  <p>(2) エンボスの形状例</p>  <p>(3) 溝付きの形状例</p>  <p>(4) 上記(1)~(3)の組合せの形状例</p>  <p>[5] 張り方 縦張</p>



(寸法単位：mm)

項目	仕様
6] 構造用面材	<p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 木質系ボード</p> <p>1)～6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 普通合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 2.3以上 <p>2) 構造用合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 5以上 <p>3) 構造用パネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9以上 <p>4) パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5908 ・厚さ 9以上 <p>5) ミディアムデンシティファイバーボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 2.5以上 <p>6) シージングボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 12以上 <p>(2) セメント板</p> <p>1)～7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 硬質木片セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5404 ・厚さ 12以上 <p>2) 硬質木毛セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5404 ・厚さ 12以上 <p>3) フレキシブル板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 3以上 <p>4) パルプセメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5414 ・厚さ 6以上 <p>5) けい酸カルシウム板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 5以上 <p>6) 両面アクリル系樹脂塗装/ハルプ・けい酸質混入セメント板 (国土交通大臣認定：QM-0457)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 9以上 <p>7) スラグせっこう板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 5以上 <p>(3) 火山性ガラス質複層板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5440 ・厚さ 9以上

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥ 構造用面材 (つづき)	(4) せっこうボード 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5以上 2) 強化せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 3) 両面ボード用原紙張/せっこう板 (国土交通大臣認定：NM-4127) ・厚さ 9.5以上
⑦ 充てん断熱材	人造鉱物繊維断熱材 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする 1) グラスウール断熱材 ・規格 JIS A 9521 ・厚さ 90以上 ・密度 10kg/m ³ 以上 2) グラスウール保温材 ・規格 JIS A 9504 ・厚さ 90以上 ・密度 10kg/m ³ 以上 3) ロックウール断熱材 ・規格 JIS A 9521 ・厚さ 90以上 ・密度 24kg/m ³ 以上 4) ロックウール保温材 ・規格 JIS A 9504 ・厚さ 90以上 ・密度 10kg/m ³ 以上
⑧ 内装材	せっこうボード ・材質 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5以上 (2) 強化せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 ・端部形状 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) スクエア 2) ベベル 3) テーパー

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
①防湿紙	(1)～(13)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)アスファルトフェルト ・規格 JIS A 6005 (3)透湿防水シート ・材質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリエチレン系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 (4)プラスチックシート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂 (5)防水通気シート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂 (6)オレフィン系シート (7)住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格 JIS A 6930 (8)包装用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS Z 1702 (9)農業用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS K 6781 (10)上記(1)～(9)に高分子吸収体(吸水ポリマー、メチルセルロース)を組み合わせたもの (11)上記(1)～(10)の組み合わせ (12)上記(1)～(11)にアルミ蒸着したもの (13)上記(1)～(11)にアルミ箔を貼り合わせたもの ・単位面積質量 860g/m ² 以下
②防水紙	①防湿紙の(1)～(13)うち、いずれか一仕様とする ・単位面積質量 860g/m ² 以下

(寸法単位：mm)

項目	仕様
③シーリング材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) あり ・材質 1)～12)のうち、いずれか一仕様とする 1) 変成シリコーン系 2) シリコーン系 3) アクリル系 4) アクリルウレタン系 5) ポリウレタン系 6) ポリサルファイド系 7) 変成ポリサルファイド系 8) エポキシ系 9) ブチルゴム系 10) スチレンブタジエンゴム系 11) 油性コーキング材 ・規格 JIS A 5751 12) シリコーン系マスチック ・使用量 1g/m以上
④バックアップ材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) あり (水密材Bおよび水密材Cがない場合のみ) ・材質 1)～8)のうち、いずれか一仕様とする 1) ポリプロピレン系 2) 合成ゴム系 3) 軟質塩化ビニル系 4) ポリウレタン系 5) アクリルウレタン系 6) ポリサルファイド系 7) 変成シリコーン系 8) ポリエチレン系 ・使用量 0.3～100g/m
⑤役物	[1] 中間水切り ・材質 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする 1) 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3322 2) 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材：NM-8697) 3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3312 4) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3318 5) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (アルミニウム金属板およびアルミニウム合金板又は銅板は除く) ・規格 JIS K 6744 6) ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 ・厚さ 0.35以上 ・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする 1) なし 2) フッ素系樹脂 3) アクリル系樹脂 4) アクリルウレタン系樹脂 5) ウレタン系樹脂 6) アクリルシリコン系樹脂 7) 無機質系 8) エポキシ系樹脂 9) ポリエステル系樹脂 10) 上記2)～9)の組合せ ・塗布量 60g/m ² 以下 (表裏面合計有機質量)

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑤役物 (つづき)	<p>[2] 端面カバー</p> <p>(1)、(2)のいずれか一仕様とする</p> <p>(1) なし</p> <p>(2) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 2) 塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材：NM-8697) 3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 4) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 5) ポリ塩化ビニル被覆金属板(アルミニウム金属板およびアルミニウム合金板又は銅板は除く) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 6) ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 7) アルミニウム合金押出形材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS H 4100 ・厚さ 1)～6) 0.35以上 7) 1以上 ・水抜き孔 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) なし 2) あり ・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) なし 2) フッ素系樹脂 3) アクリル系樹脂 4) アクリルウレタン系樹脂 5) ウレタン系樹脂 6) アクリルシリコン系樹脂 7) 無機質系 8) エポキシ系樹脂 9) ポリエステル系樹脂 10) 上記2)～9)の組合せ ・塗布量 60g/m²以下(表裏面合計有機質量)

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥留付け材	<p>[1] 外装材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向) <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向) <p>[2] 胴縁固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下 <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下

(寸法単位：mm)

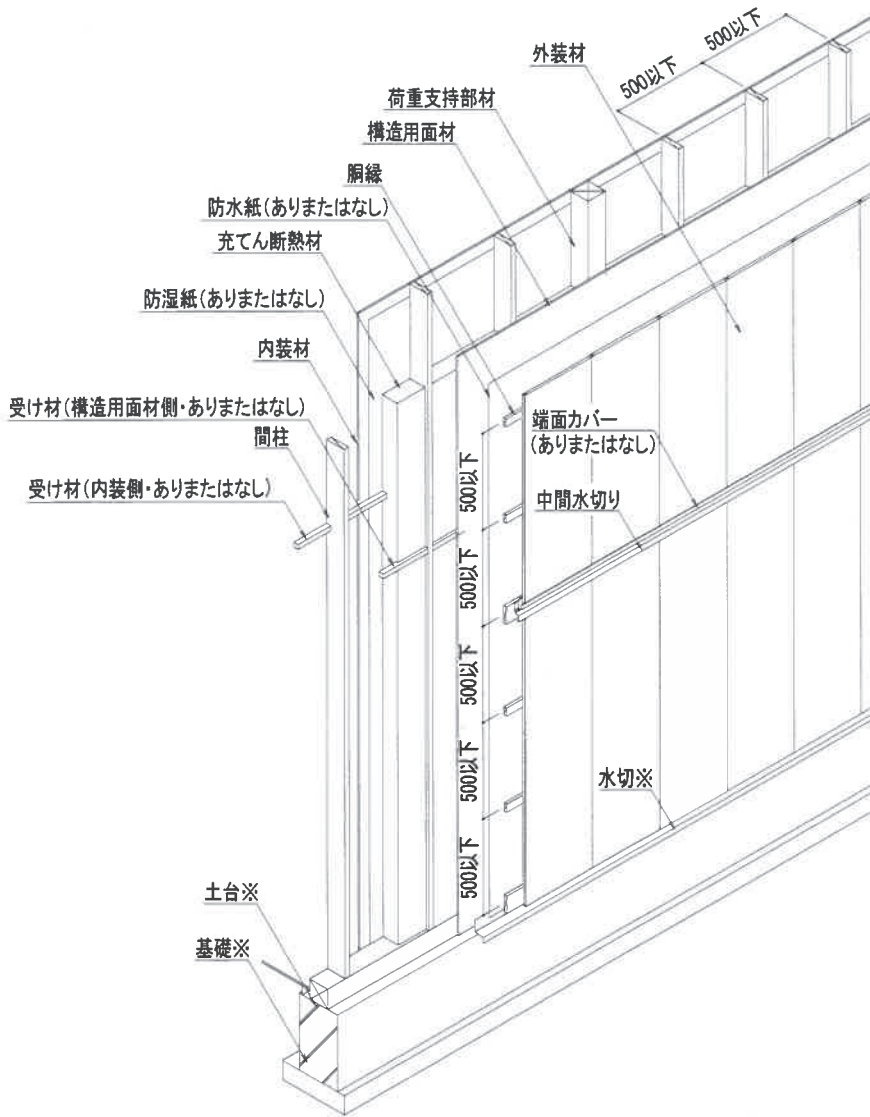
項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[3] 構造用面材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下 <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下 <p>[4] 役物固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 3000以下(千鳥) <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 3000以下(千鳥) <p>[5] 内装材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 200以下(周辺部) 200以下(中央部) <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 200以下(周辺部) 200以下(中央部)

項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[6] 防湿紙固定用 ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 幅10以上×長さ6以上 ・間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向) <p>[7] 防水紙固定用 ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 幅10以上×長さ6以上 ・間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向) <p>[8] 充てん断熱材固定用 ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 幅10以上×長さ6以上 ・間隔 300以下(両端部)
⑦内装材目地処理材	<p>[1] 縦目地部</p> <p>(1)～(3)または(2)と(3)の組合せのいずれか一仕様とする</p> <p>(1) なし</p> <p>(2) せっこう系パテ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6914 <p>(3) ジョイントテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～4)のうちいずれか一仕様とする <p>1) 紙</p> <p>2) ガラス繊維</p> <p>3) ポリプロピレン系</p> <p>4) ステンレス帯板とガラス繊維の組合せ</p> <p>[2] 横目地部</p> <p>(1) または(1)と(2)の組合せのいずれか一仕様とする</p> <p>(1) せっこう系パテ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6914 ・塗布量 30g/m以上 <p>(2) ジョイントテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～4)のうちいずれか一仕様とする <p>1) 紙</p> <p>2) ガラス繊維</p> <p>3) ポリプロピレン系</p> <p>4) ステンレス帯板とガラス繊維の組合せ</p>

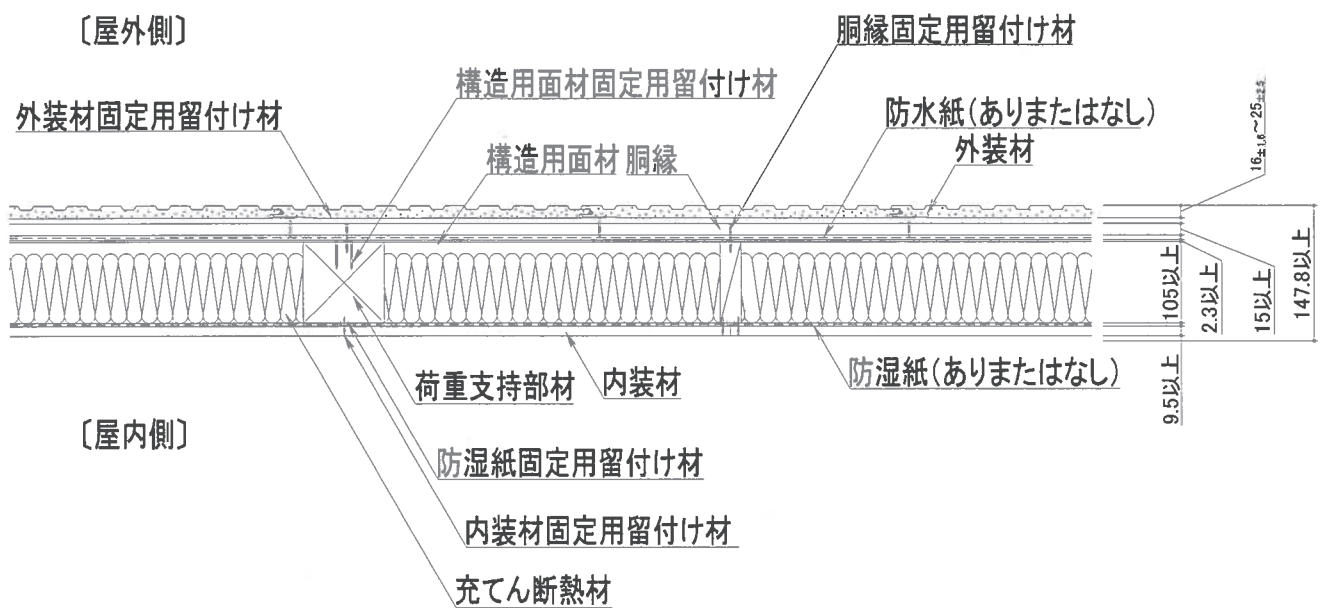
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

斜視図



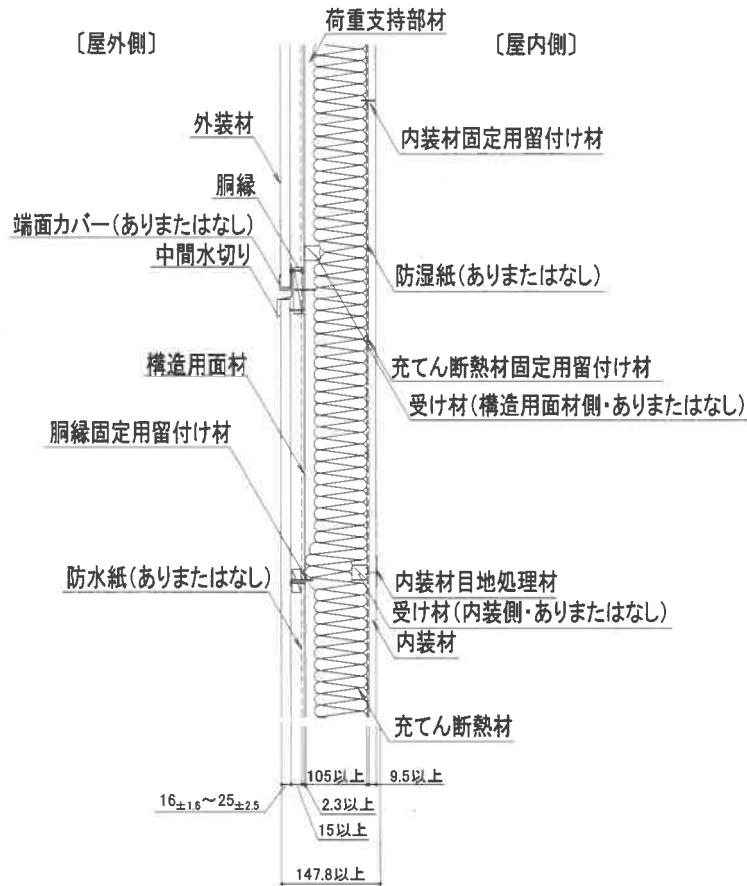
水平断面図



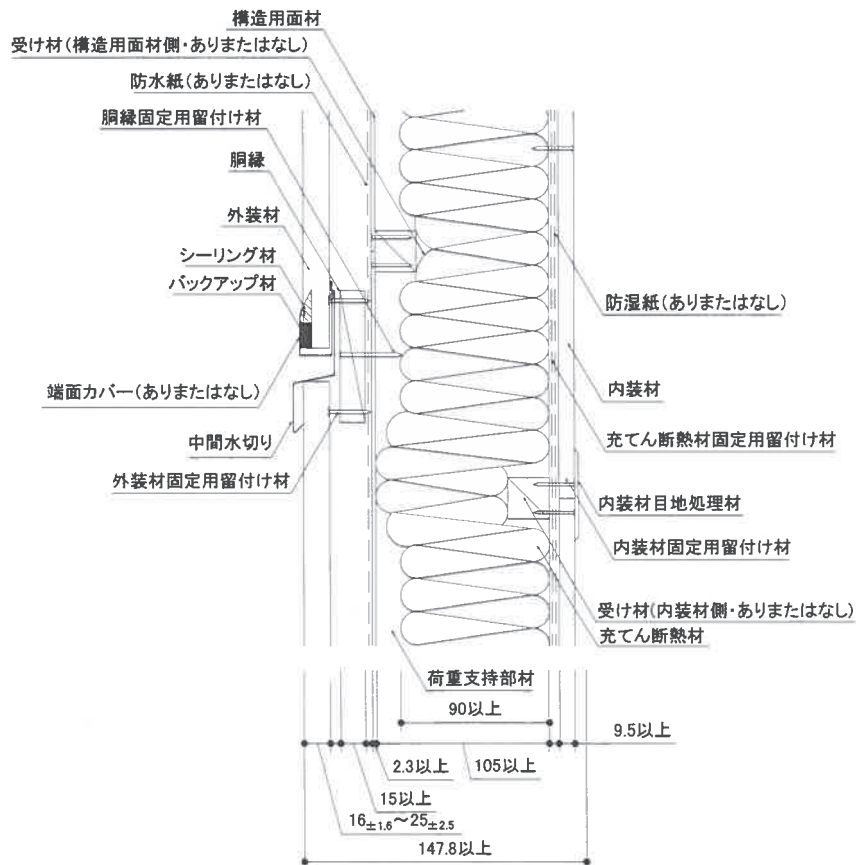
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※：本評価内容に含まない

鉛直断面図

(寸法単位：mm)



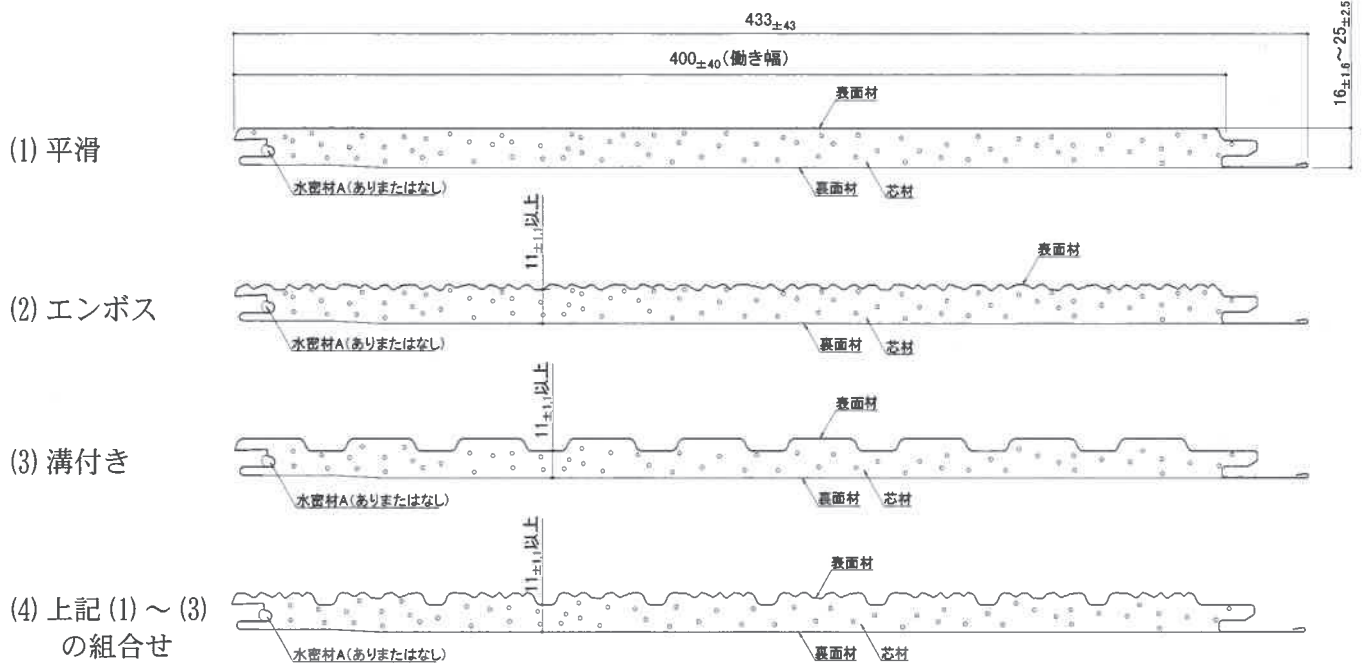
詳細図



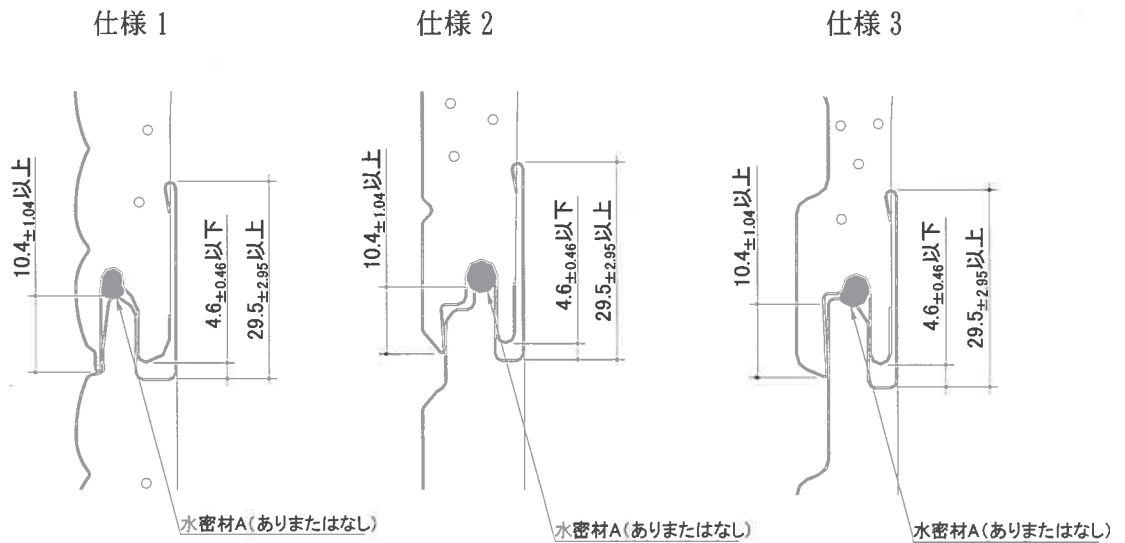
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

外装材形状 (断面)

(寸法単位: mm)

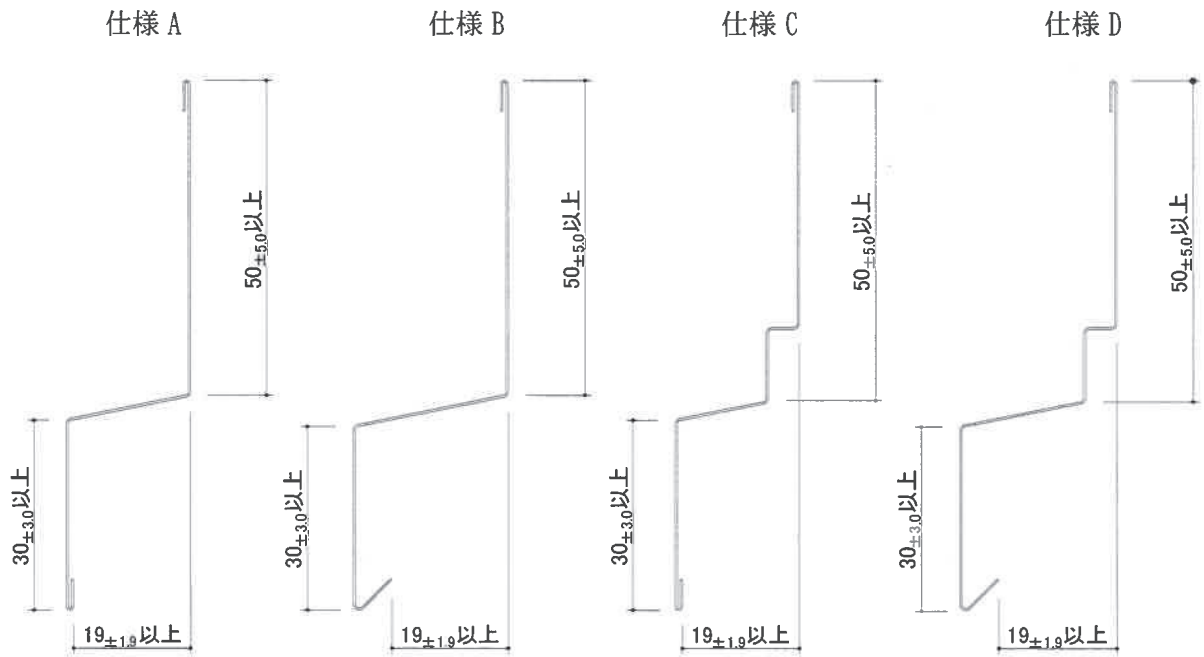


外装材形状 (接合部)

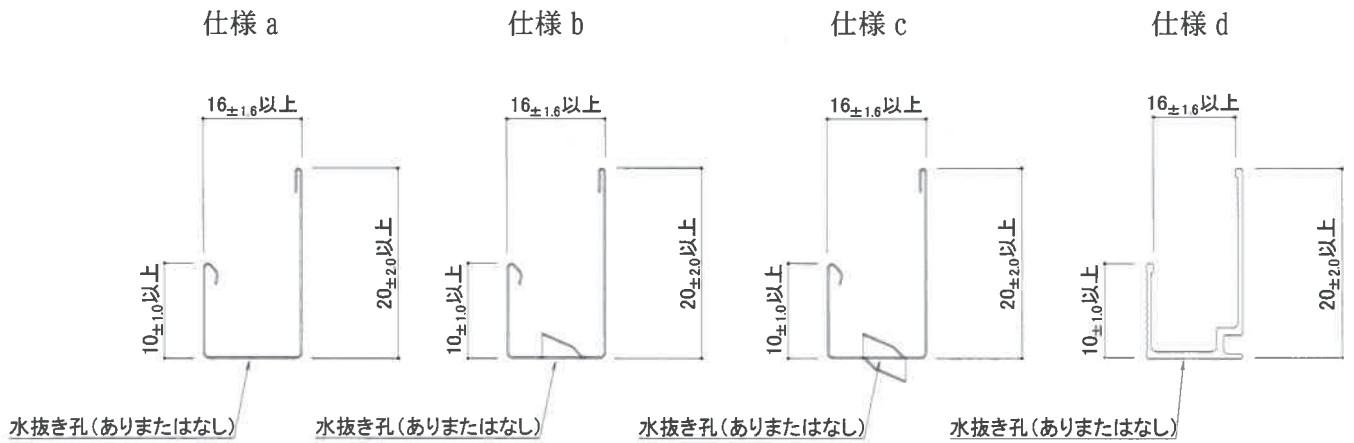


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

役物 (中間水切り) の代表例



役物 (端面カバー) の代表例



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

5. 施工方法等

〈施工図〉

4. 構造説明図と同じ

〈施工手順〉

(1) 下地

荷重支持部材、間柱、受け材は反り、曲り等ないものを使用し、荷重支持部材、間柱間隔を500mm以下で施工する。構造用面材を荷重支持部材、間柱、受け材に500mm以下の間隔でくぎまたはねじで不陸のないように施工する。

(2) 充てん断熱材の取付け

荷重支持部材及び間柱の間に充てん断熱材を入れる場合は、ステーブルを用いて取付ける。

(3) 水切、スターター(端面カバー)の取付け(評価対象外)

土台に水切、端面カバーを水準器を用いて水平に取付ける。

(4) 防水紙の取付け

防水紙を取付ける場合は、ステーブルを用いて留付ける。

(5) 胴縁の取付け

荷重支持部材又は間柱に対して、横方向に配置し、500mm以下の間隔で不陸のないように平滑に荷重支持部材、間柱にくぎまたはねじで留付ける。

(6) 役物(中間水切り、端面カバー)の取付け

- ・役物(中間水切り)を使用する場合

横目地部に中間水切りを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

- ・役物(端面カバー)を使用する場合

横目地部に端面カバーを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

(7) 外装材の取付け

外装材の側面に水平方向は外装材の働き幅間隔以下、垂直500mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

2枚目以降は外装材の凹部を外装材の凸部に差込み、施工していく。

(8) 防湿紙の取付け

防湿紙を取付ける場合は、ステーブルを用いて留付ける。

(9) 内装材の取付け

内装材はくぎ又はねじを用いて荷重支持部材、間柱に留付ける。

横目地部にはせっこう系パテを塗布する。必要に応じて、縦目地部にせっこうパテを塗布する。また、ジョイントテープを用いてもよい。